



その2

或るとき寒さを伴った冬の雨が降った日、馬が寒さに震えながら人間の家へとびこんできました。「どうか家へ入れてください」「いいよ、しかし君の寿命を少し分けてくれるならば。それが嫌なら帰ってくれよ」馬は喜んで寿命を少し譲りました。

その後しばらくすると今度は牛が寒さに耐えられずやって来ました。人間は馬の時と同じ様に「おまえの寿命を分けてくれるか、でないと入れてやらないよ。」牛も喜んで少し寿命を渡しました。

その3

次に犬が寒さと疲労に倒れそうになってやって来ました。犬も同じ様に寿命と引き換えに家に入れてもらいました。

この様にして人間は今の寿命になったのですが、神からもらった寿命の内は善良で素直であった、が馬からもらった寿命の年齢になるとほら吹きで高慢で鼻持ちならない状態になり、牛の寿命の年齢になると支配欲が強くなり、犬の年齢になると怒りっぽく口やかましい存在になった。



二人の恋人

二人の恋人を持った男がいました。一人の恋人は若く、もう一人の恋人は彼よりも年上でした。

若くて美しい恋人は彼氏が自分よりかなり年上なので恥ずかしく思い会うたびに彼の白い髪の毛を抜きました。彼氏の頭の毛はかなり白いものが目立つゴマ塩頭だったのです。

年上の恋人は、若い彼氏が自分の所へ通って来るのが恥ずかしく思い毛を抜くことを怠りませんでした。二人の恋人の間を楽しく行き来していた彼氏はいつの間にか禿げ頭になってしまいました。

